



Windows Server

証明書機関

CRLの有効期間変更と

ダウンロード方法



Gluegent Gate 付録

はじめに

本資料はGluegent Gateのアップデートリリースに際して個別に発行する参考資料です。

本資料は以下の環境・構成で構築済みの証明書機関において、CRLの有効期間の変更方法とダウンロード方法について記述しています。

- Microsoft Windows Server 2016 Standard
- 証明書機関（スタンドアロンCA）
- 証明書機関Web登録

その他の環境・構成で証明書の運用を行っている場合や、証明書機関そのものの仕様や構築・設定に関してはそれぞれ証明書発行機関の情報を参照してください。

目次

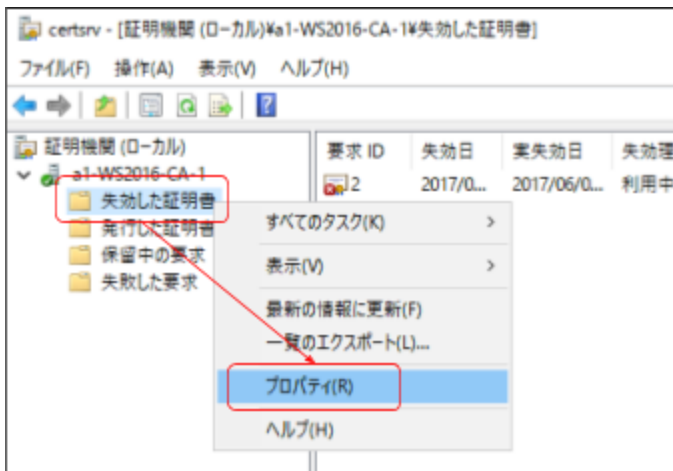
はじめに	2
CRLの有効期間変更	3
CRLのダウンロード	5

CRLの有効期間変更

サーバマネージャを起動し「ツール」－「証明書機関」をクリックします。



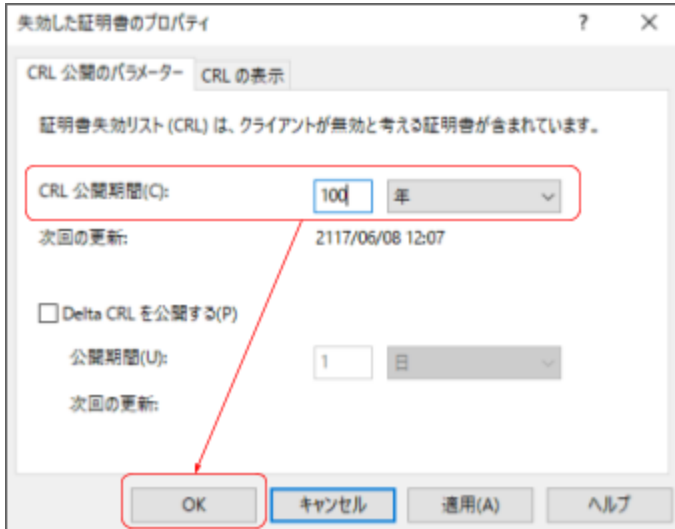
証明書機関のツリーを展開し「失効した証明書」を右クリック－「プロパティ」をクリックします。





Gluegent Gate 付録

「CRL公開期間」を任意に変更し「OK」をクリックします。公開期間が期限を切れると認証に失敗しますので失効リストを運用しない場合は長期間の設定にしてください。



「失効した証明書」を右クリックし「すべてのタスク」－「公開」をクリックします。

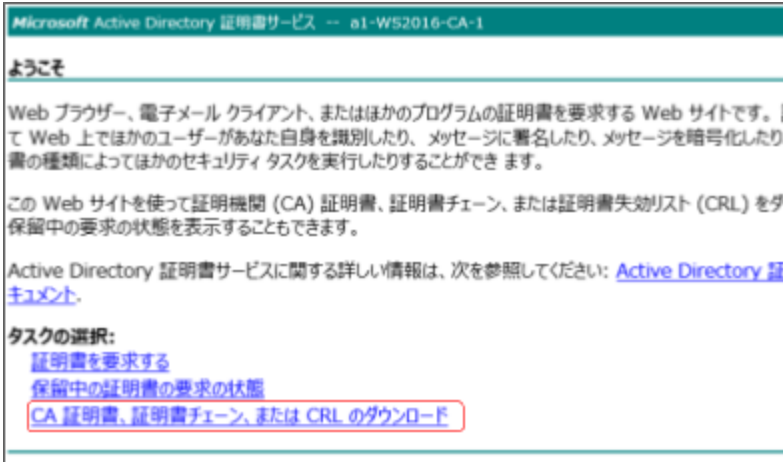


「OK」をクリックします。

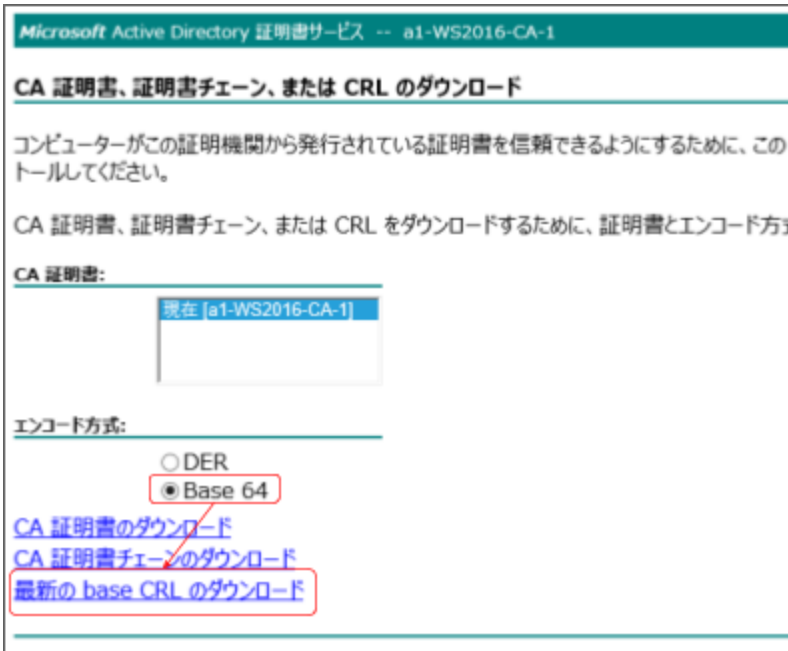


CRLのダウンロード

ブラウザを起動し（Internet Explorer推奨）、「https://<サーバ名>/certsrv/」にアクセスします。
 「CA証明書、証明書チェーン、またはCRLのダウンロード」をクリックします。



エンコード方式で「Base 64」を選択し「最新のBase CRLのダウンロード」をクリックしてダウンロードします。



以上